

🍄 🍄 🍄 楽草舎自然観察会 金勝アルプスの麓、上桐生 🍄 🍄

日時 : 2019年10月24日(木) 9時45分～15時

場所 : 滋賀県大津市 金勝(こんぜ)アルプスの麓、上桐生

コース : 上桐生バス停～オランダ堰堤～桐生キャンプ場～タマミズキの道～奥池坂～落ヶ滝線

天候 : 曇りから雨

人数 : 楽草舎9人、スタッフ3名 合計12名

JR草津駅のまわりは結構開けていて都会という感じでした。駅からバスで川沿いに進むと自然が顔を出し、新興住宅街を抜けたら完全にまわりは田んぼと山しかありませんでした。今日は朝から雨が降っていましたが、上桐生のバス停についたときには雨は止んでいて、天気予報では14時くらいまでは持つということで何とか持つてほしいと願っていました。

バス停から少し進むと駐車場があり、そこにはバイオマストイレが設置されていました。トイレを済ませ、今日のコースの説明を聞き、出発しました。雨のあとなので予想通り早速キノコがたくさん顔を出していました。真っ赤でかわいらしいベニヒガサ、黄色のキシメジ、乾燥すると香辛料のグローブ(丁子、ちょうじ)の匂いがするチョウジチチタケ、地面から生えて傘が波打ち花弁状に見えるハナウロコタケなどいろいろな種類のキノコが、参加者によって「ワ～、これ何？」

「大きい！」などの声とともに見つけられていきました。その間には、宝塚の西谷の森公園でこれでもかというくらいあったコウヤボウキも可憐な花を咲かせていました。

少し進むと、オランダ堰堤が姿を現しました。これは明治時代に来日したオランダ人技術者ヨハネス・デレーケの指導のもと、田辺義三郎が設計した階段状の石積みの堰堤で、流れ出す土砂をせき止め、河床を安定させる目的で築造されたものです。私は今から30年くらい前に金勝山の南にある田上山周辺を遠足で歩いたことがあります、その頃でも植林はされているものの尾根沿いは見渡しがよい、崩れやすい花崗岩の道でずるずる滑っていた記憶があります。

このあたりの山の木々の伐採は藤原京、平城京の造営の頃より始まり、江戸時代には燃料として小柴や松の根までが採取されてはげ山地帯となり、山から大量の土砂が流れ出し、その土砂が瀬田川に流れ込み洪水を繰り返していたそうです。明治元年淀川水域が大水害に見舞われたことから、明治6年から本



コウヤボウキ



沈下橋



オランダ堰堤

格的な砂防工事が始まりました。そして、このオランダ堰堤は明治22年(1889年)に造られてから130年を経た現在もはたらき続けているということに私はとても深い感慨を持ちました。

このオランダ堰堤のそばには、ツリガネニンジン、ガンクビソウ、ホコリタケ、アケビなどがありました。少し山を登っていくと、カワラタケ、サクラタケ、タマシロオニタケなどのキノコやウラジロノキ、マルバアオダモ、ツルニンジン、コムラサキ、ヤマノイモ、クロモジなどがみられました。とくに、ツルニンジンがたくさん咲き誇っていました。下にたれたツルの先に一輪咲いているのが特に印象的でした。

昼食のキャンプ場までに、クマヤナギ、赤い実をつけたカマツカやアオハダ、丸い葉を持つカワラハンノキ、ひつつき虫のキンミズヒキ、大きな虫こぶをつけるヌルデ、黄色い実をたくさんつけたズミなどがありました。

昼食後は雨が少し強くなり観察がしにくくなりましたが、タマシロオニタケの道を進んでいくと、黒い実をつけるイヌザンショウ、茶色の豆のさやをぶら下げるニセアカシアを経てマルバノキに到着しました。マルバノキは秋の紅葉時に実と花が同時に見られるとか、ヒトデのような花と書いてあったので本当かどうかこの目で確かめてみたいと思っていました。そしてやっとそのときを迎えました。本当にヒトデのような花です。それも赤くて2つくっついている。実を探すと実もちゃんとありました。残念ながら、葉は少し赤くなり始めたぐらいで、紅葉からはほど遠かったですが、書かれていたことをこの目で確認できてとてもうれしかったです。

このあと時間がなくて奥池坂を通りましたが、花崗岩がむき出しの道は滑りやすく、アップダウンも激しく、他の人に手伝ってもらわないと進めないところも多々あり、観察どころではありませんでした。坂を下り、水が増した小川を石伝いに渡るとそこにはご褒美が待っていました。現在連絡会のホームページ(2019年10月)を飾っている



タマシロオニタケ

アケボノソウがそこに咲いていたのです。とても可憐でひっそりと花を咲かせていたため、ほとんどの参加者は川渡りをした川のそばに咲いているアケボノソウに気づくこともなく先に進んでしまっていたのを呼び戻してきれいな姿を見てもらうことができました。とても良いものが見られた観察会となりました。

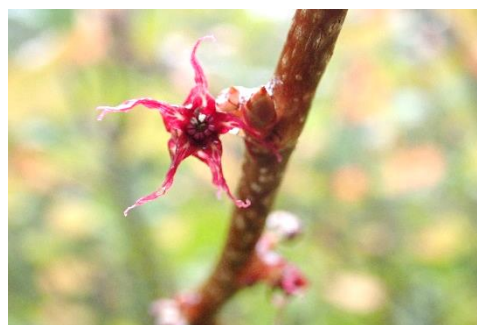
細川 幾由



ツルニンジン



ツルニンジンつぼみも五角形



マルバノキ



アケボノソウ